宿泊約款

Provisions Governing Accommodation Agreements

(本約款の適用)

第1条 当ホテルの締結する宿泊契約およびこれに関連する契約は、この約 款に定めるところによるものとし、この約款に定められていない事項に ついては、法令または慣習によるものとします。

当ホテルは、前項の規定にかかわらず、この約款の趣旨、法令およ 2 び慣習に反しない範囲で特約に応じることができます。

(宿泊引受けの拒絶)

- 第2条 当ホテルは次の場合には、宿泊の引受けをお断りすることがありま す。
 - (1)宿泊の申込みが、この約款によらないものであるとき。
 - 満室(員)により客室の余裕がないとき (2)
 - 宿泊しようとする者が宿泊に関し、法令の規定または公の秩序若し (3)
 - くは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき (4)宿泊しようとする者が、暴力団・暴力団員・暴力団関係団体また
 - はその関係者、その他反社会的勢力であるとき。 (5) 宿泊しようとする者が暴力団または暴力団員が事業活動を支配す る法人その他団体であるとき。
 - 宿泊しようとする者が法人で、その役員のうちに暴力団員に該当 (6)
 - / する者があるとき。) 宿泊しようとする者が宿泊施設もしくは宿泊施設職員(従業員) (7)
 - 「一日」しましてする年待着日本にもしている日本語は報告、に本号/ に対し、暴力的要求行為を行い、あるいは、合理的範囲を超える負 担を要求したとき、またはかつて同様な行為を行ったと認められる とき
 - 宿泊しようとする者が、伝染病であると明らかに認められるとき。 (8)天災、施設の故障、その他やむを得ない理由により宿泊させるこ (9)とが出来ないとき。
 - (10)宿泊しようとする者が、泥酔者で、他の宿泊者に著しく迷惑を及 ぼすと認められたとき。または宿泊者が他の宿泊者に著しく迷惑を 及ぼす言動をしたとき
 - (11) 宿泊しようとする者が、当ホテルの運営に著しく支障をきたす言 動を行なったとき。
 - (12)当ホテルの定める利用規則に従う意思のないとき。

(氏名等の明告)

第3条 当ホテルは、宿泊日に先だつ宿泊の申込み(以下「宿泊予約の申込 み」という。)をお引受けした場合には、期限を定めてその宿泊予約の 申込者に対して、次の事項の明告を求めることがあります。

- (1) 宿泊者の、住所、氏名、性別、国籍、および職業。
- (2) その他、当ホテルが必要と認めた事項。

(予約金)

第4条 当ホテルは、宿泊予約の申し込みをお受けした場合には期限を決め て宿泊期間の宿泊料金を限度とする予約金の支払いを求めることがあり ます.

(予約の解除)

第5条 当ホテルは、宿泊予約の申込者が宿泊予約の全部または一部を解除 したときは、次に掲げるところにより違約金を申し受けます。 違約金申し受け規定

・予約時の宿泊料金に、下記表の比率を乗じた違約金を申し受けます。

	不泊	当日	前日	2日前	7日前	9日前	20日前
1-14名	100%	80%	20%	—	—	—	—
15-30名	100%	80%	20%	10%	10%	10%	—
31-99名	100%	80%	20%	20%	20%	10%	10%
100名以上	100%	100%	80%	20%	20%	20%	10%

- 宿泊日数が短縮した場合は、その短縮日数にかかわりな (注) 1 く、1日分(初日)の違約金を収受します。
 - 当ホテルが定めた特定日等については、異なる違約金となることが 2 あります。

前項による解除があった場合には、宿泊プラン等に含まれていた付 2 帯サービス、特典等の提供はありません。

3 当ホテルは、宿泊者が連絡をしないで宿泊当日の午後9時(あらかじめ予約到着時刻の明示されている場合は、その時刻)になっても到着しないときは、その宿泊予約は申込者により解除されたものとみなし処 理することがあります。

前項の規定により、解除されたものとみなした場合において、宿泊 者がその連絡をしないで到着しなかったことが、列車、航空機等、公共 の運輸機関の不着または遅延、その他宿泊者の責に帰さない理由による ものであることが証明されたときは、第1項の違約金は頂きません。

- 第6条 当ホテルは、他に定める場合を除くほか、次の場合には宿泊予約を 解除することができます。
 - (1) 第2条第3号から第12号までに該当することとなったとき
 - 第3条第1号の事項の明告を求めた場合において、期限までにそ (2)
 - れらの事項が明告されないとき
 - (3) 第4条第1号の予約金の支払いを請求した場合において、期限迄 にその支払いがないとき。

当ホテルは、前項の規定により、宿泊予約を解除したときは、その 2 予約についてすでに収受した予約金があれば返還します。

(Application of Provisions)

- Article 1. Accommodation contracts and related contacts to be entered into by this hotel shall be in accordance with these provisions and particulars not provided for in these provisions, shall be made in accordance with the laws and customary practices.
- 2. Notwithstanding the previous paragraph, this hotel may enter into special agreements to the extent that they will not run counter to the spirit of these provisions, the laws and customary practices.

(Rejection of Accommodation Requests)

Article 2. This hotel may refuse to provide accommodation in the following circumstances:

- When the accommodation request does not come under these (1)provisions.
- (2)When this hotel is booked full and no room is available.
- When a person seeking accommodation is deemed liable to conduct (3)himself in a manner contrary to that provided in the laws or the maintenance of public peace and good morals, through his stay in this hotel.
- (4)When a person seeking accommodation is a representative, member or associate of an organized crime syndicate or affiliated organization, or any other group that engages in antisocial behavior.
- When a person seeking accommodation is affiliated with a corporate (5)organization or other group whose business activities are controlled by an organized crime syndicate or a member thereof.
- When a person seeking accommodation is affiliated with a corporate (6)organization in which any official or executive is deemed to belong to an organized crime syndicate.
- When a person seeking accommodation makes demands of a violent, threatening or intimidating nature, or which place an undue burden on hotel facilities and staff; or when said person is known to have engaged in such behavior on a previous occasion.
- When a person seeking accommodation can be clearly detected as (8)being afflicted with an infectious disease. When requested to bear a special burden, as regards the
- accommodation. When this hotel is incapable of providing the accommodation due to
- natural calamities, damage to its facilities and other unavoidable causes. (10) When a person seeking accommodation can be clearly detected as a drunken person, who is in danger of giving other guests much trouble.
- (11) When a guest behaves in a manner that causes significant damage to the operation of the hotel.
- (12) When a guest exhibits no intention of following the rules set out by the hotel.

(Clarification of Name etc.)

Article 3. When this hotel has accepted a request for accommodation in advance of the day of occupancy (hereinafter called request for accommodation reservation) it may request the person making the reservation to clarify the following particulars, within a designated period.

- Name, sex, nationality and occupation of the person(s) occupying the (1)accommodation.
- Other particulars deemed necessary by this hotel. (2)

(Reservation Deposit)

Article 4. When a room reservation is accepted, the hotel may seek a payment of a deposit, up to the amount of room tariff for the duration of stay, to be settled within a specified period.

(Cancellation)

Article 5. The hotel may seek a payment of cancellation fee in the following cases, if a guest who has reserved a room cancels the whole or part of the reservation.

Rules on cancellation fee

The percentage shown in the table below shall be added to the room tariff at the time of reservation as cancellation fee.

	No occupancy	On the day	1 day before	2 days before	1 week before	9 days before	20 days before
1-14 guests	100%	80%	20%	—	—	—	—
15-30 guests	100%	80%	20%	10%	10%	10%	-
31-99 guests	100%	80%	20%	20%	20%	10%	10%
100 guests or more	100%	100%	80%	20%	20%	20%	10%

(Notes) 1. If the duration of stay is shortened, a cancellation fee shall apply to the first day of stay regardless of the number of day the stay is shortened.

2. Cancellation fee may vary on specific dates set by the Hotel.

- If cancellation is made as described in the previous paragraph, services and 2 special benefits included in the accommodation plan shall not be provided.
- This hotel may consider the reservation for accommodation as having been 3. cancelled by the person making the reservation, when the guest(s) does not appear by 9:00 p.m. (or by the time of arrival specified by the guest) of the day of occupancy and when he has not contacted this hotel beforehand.
- When the reservation has been considered as cancelled, in accordance with the previous paragraph, but if the guest is able to show that his failure to appear without contact was due to the delay or non-arrival of the train, airplane or other public conveyances and not to any cause due to him, this hotel will not receive the cancellation charge.

宿泊約款

Provisions Governing Accommodation Agreements

(宿泊の登録)

第7条 宿泊者は、宿泊日当日、当ホテルのフロントにおいて、次の事項を 当ホテルに登録して下さい。 (1) 第3条第1号の事項

- (2) 外国人にあっては、旅客番号、日本上陸地及び上陸年月日 (パス ポートの写しをとらせていただきます。)
- (3) 出発日および時刻
- (4) その他、当ホテルが必要と認めた事項

(客室の使用時間)

- 第8条 宿泊者が、当ホテルの客室を使用できる時間は、午後3時から翌朝 「同時までとします。ただし運転して宿泊する場合においては、到着日及 び出発日を除き終日使用することができます。
 - ー当ホテルは、前項の規定に係わらず、同項の定める時間外の客室使用 に応じることがあります。この場合には、次に掲げるとおりの追加料 金を申し受けます。
 - (1) チェックイン当日の12:00以降及びチェックアウト日の13:00まで
 - ・1人利用…1時間あたり1,000円(税込)/室
 - ・2人利用…1時間あたり2,000円(税込)/室
 - ・3人利用…1時間あたり3,000円(税込)/室
 - ・4人利用…1時間あたり4,000円(税込)/室
 - (2)上記時間を超過する場合は 1泊分の全額を申し受けます

(料金の支払い)

第9条料金の支払いは、原則として現金前払い制といたします。但し、当 ホテルが認めたものに関してはこの限りではありません。

宿泊料金の支払いは、日本の通貨もしくは当ホテルが認めた宿泊券 2 又はクレジットカードになります。

3 宿泊者が客室の使用を開始したのち任意に宿泊しなかった場合にお いても宿泊料金は申し受けます。

(利用規則の遵守)

第10条 宿泊者は、当ホテル内においては、当ホテルが定めた利用規則に 従って頂きます。

(宿泊継続の拒絶)

- 第11条 当ホテルは、お引受けした宿泊期間中といえども、次の場合に は、宿泊の継続をお断りすることがあります。
 - 第2条第3号から12号までに該当することになったとき。
 - (2) 前条の利用規則に従わないとき。

(宿泊の貴任)

第12条 当ホテルの宿泊に関する責任は、宿泊者が当ホテルのフロントに おいて宿泊の登録を行った時または客室に入った時のうち、いずれか早 い時に始まり、宿泊者が出発するため客室をあけた時に終わります。

2 当ホテルの責に帰すべき理由により、宿泊者に客室の提供ができなくなったときは、天災、その他の理由による困難な場合を除き、その宿 泊者に同一または類似の条件による他の宿泊施設をあっせんします。こ の場合には、客室の提供が継続できなくなった日の宿泊料金を含むその 後の宿泊料金は頂きません。

(寄託物等の取扱い)

第13条 宿泊客がフロントにお預けになった物品または現金ならびに貴重 品について、滅夫、毀損等の損害が生じたときは、それが、不可抗力で ある場合を除き、当ホテルは、その損害を賠償します。ただし、現金及 び貴量品については、宿泊客がその種類および価額の明告を行わなかっ たときは、当ホテルは5万円を限度としてその損害を賠償します。

宿泊客が当ホテル内にお持込みになった物品または現金ならびに貴 2 重品についてフロントにお預けにならなかったものに関しては当ホテル の故意または重大な過失がない限り、滅失、毀損等の損害が生じても当 ホテルは責任を負いかねます。

(手荷物または携行品の保管)

第14条 宿泊客の手荷物が、宿泊に先立って当ホテルに到着した場合は、 その到着前に当ホテルが了解したときに限って責任をもって保管し、宿 泊客がフロントにおいてチェックインする際にお渡しします。

2 宿泊客がチェックアウトしたのち、宿泊客の手荷物または携行品が 当ホテルに置き忘れられていた場合は、発見日を含めて7日間当ホテルに て保管し、その後貴重品については最寄の警察署へ届け、その他の物品 2 については処分させていただきます。

3 残置物が,飲料、食品、その他当ホテルが衛生的でないと判断したものに該当する場合は、通知なくすみやかに当該残置物を処分します。 3

残置物の処分、保管において費用が発生する場合は、当該費用を宿 4 泊者に負担いただきます。

(駐車の責任)

第15条 宿泊客が当ホテルの駐車場をご利用になる場合、車両のキーの寄 託の如何にかかわらず、当ホテルは場所をお貸しするものであって、車 両の管理責任まで負うものではありません。ただし、駐車場の管理に当 たり、 当ホテルの故意または過失によって損害を与えたときは、その損 害の責めに任じます。

- Article 6. In addition to that provided for elsewhere, this hotel shall be enabled to cancel the reservation for accommodation in the following circumstances:
 - (1) When it comes under clause 3 to 12 of article 2.
 - When the clarification of particulars in clause 1 of article 3 has been (2)requested and not complied with, within the designated period.
 - (3)When payment of the reservation deposit, stipulated in article 4 paragraph 1, has been requested and not complied with, within the designated period.
- When this hotel has cancelled the reservation for accommodation, in accordance with the previous paragraph, it shall refund any deposit receive for the reservation.

(Registration)

Article 7. Guests shall register the following particulars with this hotel at office, on the day of their arrival.

- (1) Particulars stated in clause 1 of article 3. Non-Japanese guests are required to register their passport number, (2)
- place and date of landing in Japan (copy of the passport shall be taken). (3) Day and hour of departure.
- (4) Other particulars deemed necessary by this hotel.

(Hour of use)

- Article 8. Guests may use the guestrooms between 15:00 and 10:00. In the case of consecutive stay, guestrooms can be used throughout the day on the day of check in and check out.
 - 'The hotel may agree for guestrooms to be used outside the hours stated notwithstanding the rules of the preceding paragraph. Additional charges will apply in such cases.
 - After 12:00 on the day of check-in and by 13:00 on the day of check-out.
 Per person 1,000 yen per hour (including tax)/per room
 - Two people 2,000 yen per hour (including tax)/per room
 - Three people 3,000 yen per hour (including tax)/per room
 - \bullet Four people 4,000 yen per hour (including tax)/per room
 - (2)Guests will be charged the rates for one night's stay if they stay beyond the abovementioned times.

(Payment of Bills)

Article 9. In principle the hotel charge shall be paid in cash in advance.

- However, anything approved by the hotel is excluded.
- The payment of hotel charge must be made in Japanese currency, room voucher or credit card accepted by the hotel.
- 3 Guests shall pay for the accommodation from the commencement of occupancy, even when he voluntarily chooses not to use the facility.

(Observance of Rules)

Article 10. Guests are required to adhere to the terms and conditions set out by the hotel.

(Rejection of Continued Occupancy)

Article 11. This hotel may reject the continued occupancy of the room, even for the period accepted, in the following circumstances:

- (1) When it comes under clauses 3 to 12 of article 2.
- (2) When the guest does not observe the rules stated in previous article.

(Responsibility on Accommodation)

- Article 12. The responsibility of the hotel concerning accommodation shall start from the time the guest is registered at the front office or when he enters his room, whichever is the earlier, and terminates at the time he leaves his room to depart.
- When the guest can no longer be accommodated due to reasons for which this hotel is responsible, the hotel shall arrange to secure accommodation of the same or similar standard for the guest at facilities elsewhere, excepting cases of natural calamities and other causes making its observance difficult. In such a case, there shall be no charge to the guest for the accommodation at this hotel for the day.

(Handling of articles deposited at the front desk)

- Article 13. If articles, cash or valuables deposited at the front desk for safekeeping become lost or damaged, the hotel shall indemnify for loss or damage except in the case through fate. However, in the case of cash or valuables, if the guest fails to declare the type or value of the cash or valuables, the hotel shall indemnify up to 50,000 yen for loss or damage.
- The hotel shall bear no responsibility for loss or damage of articles, cash or valuables brought into the hotel by the guest that are not deposited for safekeeping at the front desk except by intent or gross negligence of the hotel

(Safekeeping of hand luggage and personal effects)

- Article 14. In the case the hand luggage arrives at the hotel before the guest's arrival, the hotel shall hold such items only if agreement is made in advance before the guest's arrival and shall hand be handed over to the guest at the front desk at check-in.
- In the case the hand luggage or personal effects are left behind in the hotel after check-out, the hotel shall hold such items for seven days including the day such items are discovered. After seven days, valuables held shall be handed over to the nearest police station and other articles shall be destroyed.
- The hotel has the right to dispose of items, i.e., drinks, food, left in the guestroom, if they are deemed unhygienic, without notification to the guest.
- 4. If the disposal or storage of items left in the guestroom incurs a charge, the guest shall be responsible for paying such charges.

(宿泊者の責任)

第16条 宿泊客の故意または過失により当ホテルが損害を被ったときは、 当該宿泊客は当ホテルに対し、その損害を賠償していただきます。

(免責事項)

第17条 当ホテル内におけるコンピューター(電子機器等)通信の利用に あたっては、宿泊者自身の責任にて行うこととし、コンピューター通信 の利用中にシステム障害により利用者がいかなる損害を受けた場合にお いても、当ホテルは一切の責任を負いません。

(通用語)

- **第18条** この宿泊約款は、日本語、英語、中国語(簡体語・繁体語)、韓 国語で作成されていますが、その文の間において不一致または相違があ る場合、すべて日本語によるものとします。
- 2 宿泊約款に記載する条項等は、予告なしに改定する場合があります。

(Responsibility pertaining to parking)

Article 15. In the case the guest uses the parking garage at the hotel, the hotel shall only be providing a space for parking a vehicle and shall bear no responsibility to the management of the vehicle whether the key for the vehicle is entrusted to the hotel for safekeeping. However, if the vehicle is damaged due to intent or negligence of the hotel in managing the parking garage, the hotel shall indemnify for such damage.

(Responsibility of guests)

Article 16. If the hotel is damaged due to intent or negligence of the guest, the guest in question shall indemnify the hotel for such damage.

(Disclaimer)

Article 17. The use of computer (electronic devices, etc.) communication within the hotel shall be the user's responsibility, and the hotel shall not be liable for any damage caused by system failure whilst using computer communication.

(Languages used)

- Article 18. The adhesive terms and conditions of stay have been provided in Japanese, English, Chinese (simplified and traditional) and Korean. If there are inconsistencies or discrepancies of the texts between the languages, all terms and conditions shall be based on the Japanese version.
- 2. The contents of the adhesive terms and conditions are subject to change without notice.